



今年 最も劇的なサヨナラ打を放った選手が決定 2016 スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 受賞者 パ・リーグ 吉村裕基選手（福岡ソフトバンクホークス） セ・リーグ 鈴木誠也選手（広島東洋カープ）

スカパー! は12月1日（木）に「スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」の表彰式を、グランドプリンスホテル新高輪にて実施しました。当日は受賞選手である、吉村裕基選手・福岡ソフトバンクホークス（パ・リーグ）、鈴木誠也選手・広島東洋カープ（セ・リーグ）に加え、スカパー! プロ野球PRアンバサダーを務める倉持明日香が出席し、表彰式を行いました。表彰式後には、ゲストに元中日ドラゴンズ、野球解説者、野球評論家の山本昌さんをお迎えして、両受賞選手とのトークショーも行いました。

表彰式では受賞選手の発表に始まり、日本プロフェッショナル野球組織の熊崎コミッショナーが登壇。「すばらしいサヨナラ打でございまして私どもも強く印象に残っていることとございます」と感想を述べると、「野球は最後の最後までわからない、この大変ドラマティックな野球の魅力・持ち味というものについて、両選手は大変大きな貢献をしたものと思っております」と続けました。最後に「今後もチームの中心選手としてさらなる活躍を強く期待したいと思います。」と激励の言葉をかけました。

トークショーでは、ゲストの山本昌さんが両選手とともに今シーズン月間サヨナラ賞を受賞した全12プレーを振り返りました。吉村選手は印象に残った月間サヨナラ賞にベテランとして活躍する井口資仁選手（ロッテ）を挙げ、鈴木選手は優勝争いを繰り広げる中で放たれた脇谷良太選手（巨人）のサヨナラホームランを挙げました。そして、山本昌さんが現役時代の吉村選手との対戦を「吉村選手には痛い目にあわされた」と語り、鈴木選手との対戦を「三振をとったものの、空振りのスイングをみて鈴木選手の才能を感じた」と振り返りました。一方、吉村選手は山本昌さんとの対戦を「初めて対戦した時にすごい威圧感だったことが印象的」と語り、鈴木選手も「打席では威圧感から大きくて怖い印象をもった」と振り返りました。また、シーズン前に山本昌さんが広島を最下位と予想したことに対し謝罪するなど終始和やかなムードで行われました。



■受賞プレー概要

吉村裕基選手（福岡ソフトバンクホークス）	鈴木誠也選手（広島東洋カープ）
<p>～9回 同点3点本塁打、12回サヨナラ本塁打～</p> <p>吉村選手は、4月17日（日）福岡 ヤフオク!ドームで行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス5回戦、7対7の同点で迎えた延長12回裏、無死一塁から左中間スタンドへサヨナラ2点本塁打を放ちました。この日の福岡ソフトバンクは初回に先制され、一時は逆転に成功したものの、6回表に5点を奪われるなど、3対7とリードを許して9回裏を迎えました。4点を追うチームは二死二塁から内川選手の適時打で1点を返すと、松田選手が安打でつなぎ、二死一、二塁から代打で登場した吉村選手が今シーズン初安打となる同点3点本塁打を放ち、延長戦へ突入。そして、延長12回裏、吉村選手の2打席連続となる劇的な本塁打によって勝利を飾りました。</p>	<p>～2試合連続となる、逆転サヨナラ3点本塁打～</p> <p>鈴木選手は、6月18日（土）マツダスタジアムで行われた対オリックス・バファローズ2回戦、1対3で迎えた9回裏、一死走者一、三塁の場面で、左翼席へサヨナラ逆転本塁打を放ちました。広島は、6回まで1対0とリードしていましたが、先発・岡田投手が7回に連打と四球で逆転を許します。1対3とリードを広げられ迎えた9回裏、一発サヨナラの場面で鈴木選手に打席が回ると、1ボール2ストライクと追い込まれてからの4球目、相手投手のフォークを左翼席に運び、チームを劇的な勝利に導きました。鈴木選手は、前日の試合でもサヨナラ本塁打を放っており、NPB史上10人目の2試合連続サヨナラ本塁打。</p>

■スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞

本賞は、2009年の制定以来、最も劇的なフィナーレである「サヨナラ打」にスポットを当てた賞として、「最後の一球まで何が起こるかわからない」というプロ野球の魅力を、全国のプロ野球ファンの皆様にお届けしてきました。本賞は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」を掲げているスカパー! ならではの賞であり、その年のレギュラーシーズンの全サヨナラ試合の中で最も劇的なサヨナラ打を放った選手に対して贈られるものです。シーズン終了後、セ・パ両リーグから各1名ずつ選出し、コミッショナーが認定するもので、受賞選手にはトロフィーと賞金200万円が贈られます。また同様の趣旨のもと、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手を表彰する、月間「スカパー! サヨナラ賞」を制定しています。今シーズンのペナントレースでは、パ・リーグ35試合、セ・リーグ38試合、合計で73試合ものサヨナラゲームが記録されました。

<<年間大賞 歴代受賞選手>>

年度	セントラル・リーグ	パシフィックリーグ
2009	亀井 義行(読売ジャイアンツ)	井口 資仁(千葉ロッテマリーンズ)
2010	天谷 宗一郎(広島東洋カープ)	小久保 裕紀(福岡ソフトバンクホークス)
2011	長野 久義(読売ジャイアンツ)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2012	和田 一浩(中日ドラゴンズ)	中田 翔(北海道日本ハムファイターズ)
2013	長野 久義(読売ジャイアンツ)	浅村 栄斗(埼玉西武ライオンズ)
2014	福留 孝介(阪神タイガース)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2015	雄平(東京ヤクルトスワローズ)	柳田 悠岐(福岡ソフトバンクホークス)

■受賞選手・ゲストコメント

<<吉村裕基選手・福岡ソフトバンクホークス (パ・リーグ) >>

数あるサヨナラ試合の中から選んでいただき嬉しく思います。4月16日に熊本地震が起きまして、(受賞したサヨナラ打が) その直後の試合ということで、被災された方々を少しでも勇気付けられたのであれば僕自身、嬉しく思います。最後の最後まで諦めない試合を来年以降も選手一丸となってやっていきたいと思っております。

<<鈴木誠也選手・広島東洋カープ (セ・リーグ) >>

セ・リーグの中でも数多くあるサヨナラ試合の中から、僕のホームランを評価していただき、このような賞を受賞できて大変嬉しく思います。今シーズンは緒方監督が言ってくださった「神ってる」という言葉で、多くの人々に自分のことを知ってもらえた“良いシーズン”でした。リーグ優勝はできましたが、日本一にはなれなかったため、これを来シーズンの目標とし、来年もスカパー! サヨナラ賞を受賞できるように必死に頑張ります。

<<ゲスト・山本昌さん>>

ホームランを打てる選手は見ていて気持ちがいいですね。サヨナラ打は投手にとっては最悪ですが、野球の醍醐味の一つだと思います。吉村選手は私が引退した歳まで18年もありますし、長く野球をやるコツは“足を大事にすること”なので、足のケガに気を付けて頑張ってほしいです。鈴木選手は、今年ブレイクしましたが、これに驕ることなく、野球やそれ以外のスポーツ選手でも、素晴らしい選手たちに恵まれた世代ですので、彼らに負けないように頑張ってほしいと思います。

■抽選で選ばれたスカパー! 会員100名も会場で祝福

今年の表彰式には、スカパー! 会員の中から抽選で100名様を表彰式にご招待しました。貴重なプレゼント抽選会や選手との記念撮影会も実施。プレゼント抽選会では、両受賞選手のサイン入りグッズが贈呈されました。

リリース情報は、こちらのサイトにも掲載されております。「スカパー! エンタメ情報館」 <https://blogs.skyperfectv.co.jp>